

議会運営委員会視察報告書

令和3年11月8日（月）～11月9日（火）
愛知県長久手市及び犬山市

目的：市制に向けた議会運営のあり方及び議会活性化の取り組み

議会運営委員会委員長 山脇 秀隆

議会運営委員会視察報告総括

令和3年11月8日（月）長久手市

令和3年11月9日（火）犬山市

目 的：粕屋町の市制に向けた議会運営のあり方の調査、研究のため。

場 所：先進地である愛知県長久手市と犬山市。

参加者：議会運営委員7名、議会事務局1名

長久手市

平成24年1月に単独で市に移行。

人 口：60,177人

産業別人口 第一次産業：207人 第2次産業：6,380人 第3次産業：20,307人

面 積：21.55km²

議会構成

定 数：18人 会派制（7会派）3常任委員会（総務くらし建設、教育福祉、予算決算）

広報広聴協議会（費用弁償なし） 議会事務局5名

政務活動費 議員に年額12万円

一般質問インターネット録画中継；平成23年6月から実施

議会基本条例：平成27年4月1日施行

歳入歳出予算：20,340,000千円

議会費：206,325千円（1.01%）

〈長久手市からの説明〉

市政への移行全体スケジュール

市勢施行に伴う手続き

- 1, 庁内体制
- 2, 住民への説明・周知・意見聴取
- 3, 議会

結 論：長久手市の面積、人口、平均年齢、立地など粕屋町と似通っている。

日本が抱える高齢化や災害、人口減少、社会的引きこもりの課題は、長久手でも将来起きうる。また、役所だけの対応では、乗り越えることができない課題がある。住民や地域の力が必要。こうしたことから市政へと踏み出した。市政への取り組みは、3年はかかる。住民アンケートの方向性は、市であった。特に反対の実感はなかった。また、議員報酬の決定については、町民からの強い意見があり、何度か変遷した。というのが大方の説明であった。粕屋町は、2年後には、5万人を超えることが予想される。5年後の国勢調査までに町の方向性を決める必要がある。議会としては、早期に住民アンケートの実施を行い、方向性が決まったなら住民説明ができるよう対応が求められる。主要な課題になるのは、議員報酬の面であることが予想される。スムーズに議会が移行できるように準備が必要だ。

犬山市

人口：73,665人

産業別人口 第一次産業：415人 第2次産業：12192人 第3次産業：21235人

面積：74.90km²

議会構成

定数19人 3常任委員会（総務、建設、民生文教）

歳入歳出 25,922,442千円

〈犬山市議会からの説明〉

市民参加と議会向上

議会改革のあゆみ

平成22年5月議会改革推進委員会設置

主な取り組み

- 1, 議会基本条例の制定（平成23年10月1日施行）
- 2, 議会人事・組織の改革（議長任期2年。各種委員報酬の廃止など）
- 3, 情報公開・情報発信の促進
- 4, 議員間討議の促進（全員協議会を協議の場に）
- 5, 市民との意見交換、市民参加の場の設定

意見交換

宮崎議員

- 1, 女性議会の公募の流れ
答弁：はじめは3人と少なかったが10人までになった
- 2, 参加した感触
答弁：議員間討議が活発に、女性の視点ができてやってよかった。その中（女性議会）から市議へ立候補した方もいた。
- 3, 広報の所管
答弁：広報委員会

小池議長

- 1, 広報が協議会になっている。
答弁：会派から1名選出。費用弁償はなし。

井上議員

- 1, 議会改革のポイント
答弁：情報公開や平成22年基本条例制定に反対の議員が多かった。
議員間討議で理解を深めていった。政策サイクルで課題を討議。

安藤議員

- 1, 議員間討議の実施要綱はあるか
答弁：明記していない。議員間でフランクになるようにしている。

杉野議員

1, 一般質問のなかでテーマがまとまらないことは

答弁：テーマによってはまとまらないことも

古家議員

1, 議会改革の取り組みを進めているが投票率との関連は

答弁：親子議会見学、女性議会等で地道に、協働でつくっている。関連はないと思う。

市民フリースピーチでの意見では、住民に議会の情報が伝わっていない旨あった。

議会の情報発信が問題か。

末若議員

1, 議員間討議で活発な意見をどう引き出しているか

答弁：充分ではない質疑や答弁を協議し、聞けない部分は、全員協議会で。

同じ課題が何度も出るものは、(市民に影響のあるもの)は、全協で。

いろんな課題が出てきた方がよい。最初は時間がかかっていたが次第に慣れてきた。

安藤議員

1, 今後の議会改革の新たな取り組みは

答弁：ペーパーレス、ICT の活用、アイパッドの配布、遠隔操作できる環境整備です。

総括

今回の視察参加が初めての議員もいたが、中身のある視察だったと思います。議員経験が少ないせいか粕屋町の議会運営施策を認知していない視察報告も散見されました。粕屋町の議会運営の取り組みは、犬山市にも劣らないと思います。しかし、議会の活性化においては、犬山市を参考にすべき点があったことは、議会運営委員の心に大きく影響をしたと思います。今後、予算・決算審査や各常任委員会等での自由討議も含め、更なる議会運営に尽力してもらいたいと思います。